

「やってみよう！ブックトーク」

1. はじめに

2. ブックトーク実演

「つなぐ・つながる・つながっている」対象中学校3年生

別紙資料1

3. ブックトークの定義

4. 準備すること

- ① 本を読む、できるだけ幅広く【はじめに本ありき。テーマはあとからついてくる】
- ② テーマ・学年を絞り込む【興味をかきたてられるテーマのつけ方になっているかがポイント】
- ③ 子ども達の様子を思いうかべながら【子どもと本の橋渡し。本知ってますか？子ども知っていますか？】
- ④ 本と本のつながりを考える【つながりはブックトークの醍醐味】
- ⑤ 紹介がスムーズにいくように【プレゼンテーションとして完成させるため、事前の準備、細かい配慮を怠らずに】
- ⑥ 本の楽しさ、おもしろさ、魅力を伝える【楽しむ心を持って】

別紙資料2「ブックトーク組み立ての図」

別紙資料3「ブックトーク構成図」

5. 実際上の注意

- ① 問いかけ
- ② インパクト
- ③ メリハリ
- ④ 本のタイトル
- ⑤ 文章と自分の言葉の区別
- ⑥ 物語の雰囲気

- ⑦ どこで止めるか
- ⑧ 本と本のつながり
- ⑨ 誠実さ
- ⑩ レジューメ

6. 評価のポイント

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① ブックトークによって本への興味がかきたてられたか② テーマの選び方が適切か③ 本の選び方とその本に関するものにバラエティがあったか④ プレゼンテーションとして完成されているか |
|--|

7. 記録について

8. 子ども達の反応

9. さいごに

- ブックトーク上達三原則
- ①とにかくやる
 - ②いろいろなブックトークを聞く(体験する)
 - ③楽しむ